

建設技術展等の開催報告

平成27年度「建設技術報告会」 開催報告について

国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 技術情報管理官 ふるかわ たかひで
古川 貴英

1. 建設技術報告会について

北陸地方建設事業推進協議会 官公庁及び民間の23機関で構成される実行委員会が主催する平成27年度「建設技術報告会」が11月18日（水）に新潟市中央区の朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）において、524名の聴講者を集め開催されました。

この「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、新たに研究開発された新技術・新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催されており、平成7年度から今回で20回目となっています。

2. 開会式

開会式では主催者を代表して北陸地方整備局 小口企画部長が、「本報告会は民間の建設会社及び官公庁において新たに研究開発された新技術・新工法、または活用された技術情報を、民間及び行政の技術者に広く紹介し、情報共有と普及を図ることを目的としています。技術開発がより一層推進され、現場で活用されることにより、より効果的・効率的な社会資本整備の一助となることを祈念します。」と挨拶されました。

3. 基調講演

引き続き「基調講演」として、新潟大学 危機管理本部危機管理室 教授 田村圭子氏より「防災技術への期待～環日本海防災拠点構想～」と題し講演していただきました。

講演では、阪神・淡路大震災及び東日本大震災の被災分析から、今後、想定される首都直下地震や南海トラフ地震における防災対策について、ハード対策に併せてソフト対策が必要であり、新しい防災の確立として「レジリエンス（災害に備えた抵抗力）」の確保が必要で予防力と回復力のバランスが大事であるとの講話がありました。

聴講者を対象としたアンケートでも大変参考になったという意見が大半を占めていました。



写真一 開会挨拶（小口企画部長）



写真一 2 基調講演
(新潟大学 危機管理室 教授 田村圭子氏)

- ① 社会資本の的確な維持管理・更新 (14題)
- ② 雪に強い地域づくり (5題)
- ③ 良いものを安く (4題)
- ④ 自然災害からの安全確保 (1題)
- ⑤ 環境の保全と創造 (3題)
- ⑥ その他 (4題)

近年、維持管理の重要性が取り上げられていることから、平成25年度より「①社会資本の的確な維持管理・更新」のテーマを新設しましたが、3年連続で最も発表数が多く、このテーマへの関心が高いことが理解できます。

5. 新技術パネル展示

第2会場協のホワイエでは、「新技術パネル展示コーナー」を併設し、官民33機関のパネル展示とパンフレット配布が行われました。

発表会場に隣接して展示を行ったことから、休



写真一 3 基調講演の聴講状況 (第1会場)



写真一 5 技術報告の状況 (第2会場)



写真一 4 技術報告の状況 (第1会場)

4. 技術報告

技術報告会は2会場に分かれ、次の6テーマに関して31題の報告を行いました。



写真一 6 新技術パネル展示コーナーの状況

表一 技術報告一覧

会場グループ	テーマ番号	技術名	会社（機関）名
第1会場	Ⅰグループ	① 橋梁長寿命化のための桁洗浄	新潟県 土木部
		① アルミ合金製常設作業パネル「cusa（キュウサ）」の開発	(株) 横河ブリッジホールディングス 総合技術研究所
		① FRPを用いた歩道床版拡幅工法の耐荷性能に関する実験的研究	宮地エンジニアリング(株) 橋梁営業部
		① ユニバーサルデザインに基づく「バリアフリーバス停」の提案	日本道路(株)
	Ⅱグループ	② 新型除雪トラックの開発	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
		② GPSを利用した雪氷車両の半自動操作システム	東日本高速道路(株) 新潟支社
		② 凍結防止剤の滞留による効果持続を期待した型押し式すべり止め舗装	(株) NIPPO 北信越支店
		② 粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装「アイストッパー」	大林道路(株) 技術研究所
	Ⅲグループ	② 消雪井戸リユース地中熱ヒートポンプシステムによるスポット融雪	(株) 興和 技術開発室
		⑤ 自然由来ヒ素汚染土壌の分離浄化工法	前田建設工業(株) 土木事業本部
		③ TT-Monitorによる切羽前方地山予測	大成建設(株) 技術センター 土木技術研究所
		③ リブ付きアーチフォームを用いたRC床版	川田工業(株) 北陸事業部
	Ⅳグループ	③ 北陸地方整備局における「CIM」の取り組み	国土交通省 北陸地方整備局 企画部
		③ 玉石混り砂礫地盤に対するシールドマシンの選定と掘進実績	鹿島建設(株) 北陸支店
		⑥ 新しい斜め土留め方式(斜め控え壁式鋼矢板方式)の開発と現場への展開	(株) 大林組 北陸支店
		⑥ 「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」の概要	新潟県 土木部
第2会場	Ⅰグループ	④ 斜め・水平施工を可能とする機械攪拌系地盤改良工法の開発WinBLADE工法	日特建設(株) 技術本部
		⑥ 水門等遠隔監視制御システムの整備について	(株) 興和 水工部
		⑥ ケーソン据付の安全性・施工性向上技術	(株) 本間組 土木事業本部
		⑤ 底泥分級浄化工法の開発	あおみ建設(株) 土木本部
	Ⅱグループ	⑤ 環境共生に配慮した消波ブロック「テトラネオ」	(株) 不動テトラ 北陸支店
		① 水中浮体式波浪観測装置の更新について	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
		① 曲がり削孔式浸透固化処理工法による供用中の滑走路の液状化対策	五洋建設(株)
	Ⅲグループ	① 劣化損傷した既設栈橋の鋼管杭と上部工の接合部の巻立て補強技術「タフリードPJ工法」の開発	東亜建設工業(株) 技術研究開発センター
		① UAV(無人航空機)を用いた空中写真測量技術の適用性について	国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
		① THS工法(既設集水井の更生)	(株) 笠原建設 機材部
		① 塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進工法「ベル工法」	真柄建設(株) 土木事業本部
	Ⅳグループ	① 分粒装置付きロードスタビライザの施工事例	鹿島道路(株) 機械部
		① 塩分分析におけるJNLA試験事業者登録の紹介	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 金沢支店
		① 空中放射音波による遠距離非接触非破壊検査技術/NCAI法	佐藤工業(株) 技術研究所
	① HIVIDAS(ヒピダス)の開発	清水建設(株) 土木技術本部	

憩時間等で効率的にパネル展示を見ることができ
新工法・新技術の情報取得には良かったと思われ
ます。

6. CPD・CPDS発行

社会資本整備に携わる技術者の技術力向上の場
としても、この報告会を積極的に活用されるよ
う、昨年に引き続きCPDとCPDSの認定プログラ
ムとして、266名（CPD：156名、CPDS：110名）
の技術者に受講証明が発行されました。



写真一七 CPD・CPDSの受講証明発行状況

7. 閉会式

最後に、本報告会の実行委員長である北陸技術
事務所の佐藤事務所長から、「本日の報告会で発
表される技術報告は、いずれの技術も各社の日頃
の研究の成果として最新のものばかりであり、現
場での更なる普及・発展が期待される。これらの
建設技術が国土の発展に寄与し、地域の安全・安
心に貢献することを祈念します。」と発表内容に
ついての総評が行われ、閉会となりました。



写真一八 総評・閉会挨拶
(佐藤実行委員長)

8. おわりに

官公庁及び民間の建設会社の参加により、新技
術の活用・普及に向け大変有意義なものとなりま
した。

多数の聴講ありがとうございました。

なお、平成27年度「建設技術報告会」で技術報
告された報告論文は、北陸技術事務所のホームペ
ージに掲載されており自由に閲覧可能です。

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/index.html>

表一 北陸地方建設事業推進協議会 平成27年度「建設技術報告会」実行委員会構成機関

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路（株）新潟支社／中日本高速道路（株）金沢支社
／（一社）日本建設業連合会北陸支部／（一社）日本道路建設業協会北陸支部／（一社）建設コンサルタンツ協会北陸
支部／（一社）日本建設機械施工協会北陸支部／（一社）新潟県建設業協会／（一社）富山県建設業協会／（一社）石
川県建設業協会／北陸土木コンクリート製品技術協会／（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／
北陸PC防雪技術協会／（一社）新潟県融雪技術協会／（一財）新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／（一社）
日本埋立浚渫協会北陸支部／（一社）北陸地域づくり協会／（一社）日本橋梁建設協会北陸事務所